

会計名 一般会計			和田英作展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	日本近代洋画の礎を築き、明治・大正・昭和を通じて洋画壇の重鎮として偉大な業績を残した画家、和田英作（1874～1959年）の画業を振り返る回顧展を開催し、美術に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○代表的な油彩画や素描・下絵等の展示 ○バスツアー、講演会等のイベントの開催 会期 平成28年4月23日～6月5日（38日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成28年度～平成28年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・ギャラリートーク 6回 ・記念公演会 1回 ・バスツアー 1回		_____	
成果		・学芸員による解説付き展覧会鑑賞及び和田英作が描いた刈谷や知立を巡るバスツアーを開催するなど、地元の美しい風景を改めて鑑賞し、より身近に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		・高齢な来館者が多く、展示室内の椅子不足が見られたため、通常より椅子を多く配置するなどの配慮をし、誰もが安心して楽しむことができる展覧会づくりについて検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		入館者数（人）			—	—	8,526	—	—
活動指標		入館者アンケートの満足度（%）			—	—	94.4	—	—
他市との比較検証		展覧会の主な巡回館の会期・入場者数…佐野美術館：50日・7,820人、神戸市立小磯記念美術館：51日・7,135人、都城市立美術館：32日・3,855人							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	14,118	0	合計	14,118,137円	
	財源	特定財源	0	0	4,468	0	賃金	1,829,320円	
		一般財源	0	0	9,650	0	報償費	125,000円	
	職員人件費②		0	0	6,643	0	旅費	76,640円	
	総事業費（①+②）		0	0	20,761	0	需用費	1,861,011円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称		役務費	1,262,806円
28年度までの累積事業費		0		入場料、印刷売払収入、講座受講料		委託料	1,908,360円		
30年度以降の事業費見込		0				負担金、補助及び交付金	7,055,000円		

会計名			和田英作展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	学芸員による解説付き展覧会鑑賞及び和田英作ゆかりの地を巡るバスツアーを開催し、身近に芸術に触れられる最適な機会となった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	展覧会記念講演会を行うことで、より知識を深める機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・地元の風景を描いた作家の展覧会であり、それらの地を巡るバスツアーを開催し好評であったため、今後とも、地元の方がより興味を引くイベントを企画していく。					

会計名 一般会計			長新太展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	40年以上にわたり、柔軟で斬新な発想による絵本を発表し続け、漫画家、イラストレーター、エッセイスト、絵本画家として八面六臂の大活躍した長新太（1927～2005年）を紹介することで、美的好奇心や心の豊かさを育む機会とし、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○絵本、原画、大人向けに発表された漫画やイラストレーション等の展示 ○制作課程の紹介 会期 平成28年7月23日～9月4日（37日間） 会場 1階展示室・1階ロビー 入場料 一般当日300円 学生当日200円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成28年度～平成28年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・ギャラリートーク 3回 ・ワークショップ 1回 ・えほんのじかん 6回 ・絵本ライブ 1回		_____	
成果		・「絵本をうたう」絵本ライブを開催するとともに、学芸員によるギャラリートークや、絵本の読み聞かせイベント「えほんのじかん」などを開催し、年代を問わず楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		・絵本の展覧会であるため、子ども連れの来館者が多く見られたが、授乳室や洋式トイレの不足など、子どもから大人まで安心して快適に利用できる施設整備について検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		入館者数（人）			—	—	10,417	—	—
活動指標		入館者アンケートの満足度（%）			—	—	97.7	—	—
他市との比較検証		展覧会の主な巡回館の会期・入場者数…ちひろ美術館・東京：58日・11,937人、横須賀美術館：51日・23,367人、佐野美術館：32日・5,438人、安曇野ちひろ美術館：57日・30,906人							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	12,240	0	合計	12,239,697円	
	財源	特定財源	0	0	6,522	0	賃金	1,118,880円	
		一般財源	0	0	5,718	0	報償費	112,000円	
	職員人件費②		0	0	5,861	0	旅費	25,860円	
	総事業費（①+②）		0	0	18,101	0	需用費	4,365,463円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		入場料、印刷売払収入					
30年度以降の事業費見込		0							
						委託料	2,214,000円		
						負担金、補助及び交付金	3,240,000円		

会計名			長新太展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	「絵本をうたう」絵本ライブや、大学との連携による絵本読み聞かせイベント「えほんのじかん」などを開催することで、展覧会をより楽しむことができ効率よく運営を行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	展覧会と絡めたワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本原画の展覧会開催については、近隣大学の幼児保育などを専攻している学生による、絵本の読み聞かせの時間を設けるなど、近隣大学との連携を深めていく。</li> </ul>					

会計名			しりあがり寿展開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	独特の批評精神に満ちた数多くのギャグ漫画で知られる、しりあがり寿（1958年～）を紹介することで、人間や社会、笑いと芸術について考える機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	○回転インスタレーションを中心とした新作の大規模展示 ○茶室設置の障子マンガの公開制作 会期 平成28年9月17日～11月6日（42日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成28年度～平成28年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・ギャラリートーク 3回 ・対談 1回 ・夜間開館 1日 ・映画上映 1回 ・親子無料デー 1日		_____	
成果		・初日の公開制作作品を茶室に展示し、作品に囲まれた和室での呈茶の実施や、開館時間を延長し夜間開館日を設けることで通常の美術館と異なる空間を楽しむ、存分に現代美術の世界に触れることができる機会を提供できた。							
課題		・知名度の高い作家のように、多くの人に告知を浸透させることが難しく、今後、より効果的なPR方法を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		入館者数（人）		—	—	7,384	—	—	
活動指標		入館者アンケートの満足度（%）		—	—	91.9	—	—	
他市との比較検証		展示会の主な巡回館の会期・入場者数…練馬区立美術館：55日・11,682人、伊丹市立美術館：44日・4,488人							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	19,080	0	合計	19,079,551円	
	財源	特定財源	0	0	3,887	0	賃金	2,312,485円	
		一般財源	0	0	15,193	0	報償費	70,000円	
	職員人件費②		0	0	6,643	0	旅費	231,960円	
	総事業費（①+②）		0	0	25,723	0	需用費	2,972,589円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称		委託料	4,349,909円
28年度までの累積事業費		0		入場料、印刷売払収入		負担金、補助及び			
30年度以降の事業費見込		0				交付金	7,776,000円		

会計名			しりあがり寿展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	夜間開館日や文化の日親子無料デーを設けることで、子どもから大人まで気軽に展覧会を楽しむことができ、効率的な運営を行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	展覧会と絡めたワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・作家のマンガなどの装丁デザインを手がける地元出身のグラフィックデザイナーとの対談を開催し、好評であったため、今後とも、地元の人がより興味を引くイベントを企画していく。 ・茶室での作品展示、親子無料デー、夜間開館、映画上映などの初の試みであったイベントも好評であったため、今後とも、新たなイベントの開催にチャレンジしていく。					

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行い、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	○美術品動産保険 ○収蔵庫の燻蒸 ○収蔵作品の修復 ○収蔵庫の保存環境測定				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 1階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影	
成果		・ 収蔵作品の適切な保存、管理、補修が図られている。							
課題		・ 新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復は新収蔵品を優先して行っており、以前からの収藏品は予算の範囲内で順次行っている。そのため修復を必要とする作品が残っている状況である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）		410	217	333	200	200		
活動指標	修復、保存措置等をした作品のうち展示に活用した作品数（点）（写真撮影、額装等）		30	65	39	60	60		
他市との比較検証	修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：0、碧南市藤井達吉現代美術館：67、名古屋市美術館：56、豊田市美術館：165、豊橋市美術博物館：2、稲沢市荻須記念美術館：1 収藏品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：2,501、碧南市藤井達吉現代美術館：1,497、名古屋市美術館：6,083、豊田市美術館：3,480、豊橋市美術博物館：59,143、稲沢市荻須記念美術館：230								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳		
	事業費 ①		3,336	2,683	2,778	3,435	合計 2,777,576 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 60,610 円		
		一般財源	3,336	2,683	2,778	3,435	委託料 2,328,166 円		
	職員人件費 ②		1,760	2,742	2,735	2,656	使用料及び賃借料 388,800 円		
	総事業費（①+②）		5,096	5,425	5,513	6,091			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
	28年度までの累積事業費		0						
	30年度以降の事業費見込		0						

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行うことにより、刈谷市美術館が収蔵するにふさわしい美術品を収集する。				主たる内容	○刈谷市美術館美術品審査委員会への収集予定作品の諮問		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員			事業期間	平成4年度～		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人	
成果		・刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行うことができた。							
課題		・審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			111	81	49	50	50
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）…高浜市やきもの里かわら美術館：1、碧南市藤井達吉現代美術館：2、名古屋市美術館：1、豊田市美術館：1、豊橋市美術博物館：2、稲沢市荻須記念美術館：2 審査作品数（件）…高浜市やきもの里かわら美術館：4、碧南市藤井達吉現代美術館：34、名古屋市美術館：240、豊田市美術館：50、豊橋市美術博物館：20、稲沢市荻須記念美術館：3							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		597	561	420	895	合計	419,860 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	53,200 円	
		一般財源	597	561	420	895	旅費	7,540 円	
	職員人件費 ②		1,408	3,917	3,908	3,794	委託料	359,120 円	
	総事業費（①+②）		2,005	4,478	4,328	4,689			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							



会計名			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	6	8								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○特別展示室において、年5回、収蔵作品による常設展を実施 ○茶室佐喜知庵において、貸切のない日の午後1時から3時30分の間に個人呈茶を実施			
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	常設展示を行うことにより、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深めてもらう。 呈茶事業を行い、気軽に抹茶をいただく機会を提供し、茶道に親しんでもらう。								
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後10年杉本健吉・寛忠治展」25日 ・第3期常設展「旅の記憶、異国の情景」40日 ・第4期常設展「いきものたちの絵本劇場」41日 ・個人呈茶日数 225日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後30年宮脇晴と同世代の画家たち」25日 ・第3期常設展「市政65周年記念河目梯二展」40日 ・第4期常設展「ゾクッ!?奇怪な絵の誘惑」40日 ・個人呈茶日数 229日		・第1期常設展「New Collection展」32日 ・第2期常設展「館蔵名品展」26日 ・特別展示「戸田提山展」5日 ・第3期常設展「静物画のこころ」29日 ・第4期常設展「表現のひみつ」40日 ・個人呈茶日数 232日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「カガクの眼でみる絵画の世界」25日 ・第3期常設展「没後20年 星野眞吾展」40日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ彼方へのまなざし」34日 ・個人呈茶日数 230日		
成果		・個人呈茶の時間延長などにより事業が充実し、市民の文化振興が図られている。								
課題		・佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、施設・設備・茶道具の日常的な消耗・劣化があるが、十分な修繕や買替えができていないため、計画的な修繕・買換えを行うことが課題である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標		常設展入場者数（人）		40,441	37,983	43,209	45,000	45,000		
成果指標		個人呈茶人数（人）		3,972	4,124	5,907	5,500	5,500		
他市との比較検証		常設展開催日数（日）…高浜市やきもの里かわら美術館:263、碧南市藤井達吉現代美術館:305、名古屋市美術館:251、豊橋市美術博物館:260、稲沢市荻須記念美術館:297 常設展入館者数（人）…高浜市やきもの里かわら美術館:16,151、碧南市藤井達吉現代美術館:19,180、名古屋市美術館:111,444、豊橋市美術博物館:27,339、稲沢市荻須記念美術館:9,709								
C 事業コスト V		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,868	3,207	4,059	4,015	合計	4,059,300 円		
	財源	特定財源	1,334	1,378	2,599	1,855	旅費	48,240 円		
		一般財源	2,534	1,829	1,460	2,160	需用費	1,392,498 円		
	職員人件費 ②		2,816	4,701	4,689	4,552	役務費	571,234 円		
	総事業費（①+②）		6,684	7,908	8,748	8,567	委託料	2,047,328 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
	28年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入、呈茶料					
	30年度以降の事業費見込		0							

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成29年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。	主たる内容	○調査研究 ○展示美術品の借用交渉等に関する費用 ○次年度当初に開催の企画展用ポスター等の印刷費及び発送費					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
成果		・展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要であり、開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図られている。							
課題		・次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		89	91	94	95	95	
成果指標		秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		89	87	92	95	95	
他市との比較検証		次年度以降の展覧会準備にかかる予算…高浜市やきもの里かわら美術館：（次期企画展開催準備事業）チラシ印刷費・作家謝礼等、碧南市藤井達吉現代美術館：無、名古屋市美術館：（特別展関係費）旅費、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費、豊橋市美術博物館：無、稲沢市荻須記念美術館：（平成30年度特別展）旅費							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,556	2,652	2,862	3,000	合計	2,862,237 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	80,000 円	
		一般財源	3,556	2,652	2,862	3,000	旅費	1,097,090 円	
	職員人件費 ②		4,576	6,268	6,252	6,070	需用費	1,280,051 円	
	総事業費（①+②）		8,132	8,920	9,114	9,070	役務費	275,496 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	美術館をとりまく環境の変化に対応し、より開かれた美術館への要求に応えるため、美術及び美術館の教育普及活動を行い、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。				主たる内容	○企画展関連のワークショップの開催 ○夏休み・春休みの子ども向けワークショップの開催		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定			事業期間	～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・ワークショップ 18種類26回開催 ・参加者数 571人		・ワークショップ 12種類19回開催 ・参加者数 724人		・ワークショップ 8種類10回開催 ・参加者数 224人		・ワークショップ 7種13講座を開催予定 ・予定参加者数 310人	
成果		・他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは毎回抽選になるほどの応募が集まっている。							
課題		・多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		開催回数（回）			26	19	10	13	13
成果指標		参加人数（人）			571	724	224	310	310
他市との比較検証		・近隣市でほとんどの美術館が美術普及ワークショップを実施している ・実施方法は館によって異なる。高浜市やきもの里かわら美術館では、館内の陶芸創作室で休館日を除く毎日、陶芸創作体験を行っている。碧南市藤井達吉現代美術館では、ワークショップは「子ども友の会」の会員制であり、対象は小学生のみである。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		750	777	707	839	合計	707,326 円	
	財源	特定財源	18	115	22	50	賃金	179,400 円	
		一般財源	732	662	685	789	報償費	472,920 円	
	職員人件費 ②		2,464	2,742	2,735	2,656	需用費	44,596 円	
	総事業費（①+②）		3,214	3,519	3,442	3,495	役務費	10,410 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		講座受講料					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設改修事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	6	7								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	美術館の施設を改修し、来館者に快適な環境提供を図る。			主たる内容	○自動扉開閉装置修繕 ○茶室ロールスクリーン取付工事 ○1階2階トイレバリアフリー化工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画					事業期間	～	
			根拠法令	博物館法						
			対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	DO 実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		美術館の整備 ・第1展示室ピクチャーレール修繕 ・監視カメラ設備ハードディスク交換修繕 ・美術館外壁調査設計委託 ・2階トイレ洋式化工事 佐喜知庵の整備 ・水屋雨漏り修繕		美術館の整備 ・第2展示室ピクチャーレール修繕 ・1階2階トイレ壁紙等取替修繕 ・研修室及び控え室カーテン、ブラインド取替修繕 ・屋上防水改修工事 ・外壁改修工事		美術館の改修 ・自動扉開閉装置修繕 ・茶室ロールスクリーン取付工事 ・1階2階トイレバリアフリー化工事		美術館の改修 ・館内蛍光灯取替修繕 ・消防点検不良箇所修繕 ・雨水管、側溝清掃委託 ・駐車場入口アスファルト舗装工事		
成果		・美術館の設備補修は、予定されていたすべての修繕を実施した。								
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、緊急で修繕等を行うことが多いため、計画的に館内設備の修繕・買換えを行うことが課題である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
成果指標		年間入館者数（人）			99,091	90,559	91,466	92,000	92,000	
指標										
他市との比較検証		平成28年度施設修繕額（千円）…高浜市やきもの里かわら美術館：1,500、碧南市藤井達吉現代美術館：2,722、名古屋市美術館：14,881、豊橋市美術博物館：5,623、稲沢市荻須記念美術館：960								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,154	46,996	3,391	3,768	合計		3,391,200 円	
	財源	特定財源	0	0	1,900	0	需用費		896,400 円	
		一般財源	3,154	46,996	1,491	3,768	工事請負費		2,494,800 円	
	職員人件費 ②		3,168	3,525	3,126	3,035				
	総事業費（①+②）		6,322	50,521	6,517	6,803				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		コミュニティ助成金						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立する。			主たる内容	○美術品等購入基金の利子を積立てる			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	平成1年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 323,400円		・運用収入金を基金に積立 1,798,234円		・運用収入金を基金に積立 725,634円		・運用収入金を基金に積立 754,200円	
成果		・美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		・経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標	運用収入金（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標			324	1,799	726	755	—		
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、名古屋市美術館：有、豊橋市美術館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（円）…名古屋市美術館：75,522,700、稲沢市荻須記念美術館：54,476,961 運用収入金（円）…名古屋市美術館：所管外のため不明、稲沢市荻須記念美術館：33,635								
C 事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①	323	1,798	726	755	合計	725,634円		
	財源	特定財源	323	1,798	726	755	積立金	725,634円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費②	352	783	782	1,138				
	総事業費（①+②）	675	2,581	1,508	1,893				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
	28年度までの累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子				
	30年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	美術館			
款	項	目					担当係	美術館			
10	6	7									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり								
	目的	来館者に美術館及び佐喜知庵を快適に利用していただくため、施設の適正な維持管理を図る。			主たる内容	○光熱水費 ○施設修繕料 ○電話料 ○建物清掃料 ○設備等保守管理料等 ○美術館・佐喜知庵の施設管理に関する経費					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
			根拠法令	博物館法							
			対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和58年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	DO 実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 280日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 271日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日			
成果		・施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な鑑賞環境の提供ができた。									
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、エネルギー使用効率が悪いため、省エネルギーの観点より計画的に照明・空調等の設備の更新を行うことが課題である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			98	91	98	100	100		
指標											
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率…高浜市やきもの里かわら美術館：有・88%、碧南市藤井達吉現代美術館：有・80%、名古屋市美術館：無、豊橋市美術博物館：有・100%、稲沢市荻須記念美術館：有・94%									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		37,057	35,101	32,668	37,470	合計	32,667,703 円			
	財源	特定財源	2,297	2,264	2,475	2,349	需用費	15,822,839 円			
		一般財源	34,760	32,837	30,193	35,121	役務費	846,219 円			
	職員人件費 ②		5,984	7,443	5,861	5,311	委託料	14,224,301 円			
	総事業費（①+②）		43,041	42,544	38,529	42,781	使用料及び賃借料	1,774,344 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0		美術館使用料、電話料実績徴収金							
30年度以降の事業費見込		0									